

IV 入 試 方 法

1. 一般入試 および 特別入試

入試は、筆記試験、口述試験および提出書類の内容を総合して行います。

(1) 筆記試験の試験科目

受 験 者 の 区 分		試 験 科 目
一 般 入 試	一 般 A	<p>日本の大学において学士の学位を取得した者および本大学院入学の前までに取得見込みの者 並びに外国において学校教育における16年の課程を修了した者および本大学院入学の前までに修了見込みの者</p> <p>英語試験： 筆記試験は行わず、TOEFL、TOEIC、またはIELTSのスコア証明書の提出により、英語試験の成績に換算します。<u>受験者は上記のいずれかのスコア証明書を必ず提出してください。</u></p> <p>筆記試験（専門科目）： ◎次のうち2科目を受験してください。</p> <p>憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法、国際法、租税法、経済法、労働法、知的財産法、政治学、開発協力論、国際行政論、法理学</p>
	一 般 B	<p>一般Aの要件に加え、憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法、租税法、経済法、労働法、知的財産法を専攻する予定の者</p> <p>筆記試験（専門科目）： ◎次のうち、憲法、民法、刑法のいずれかを含め、2科目を受験してください。</p> <p>憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法、租税法、経済法、労働法、知的財産法</p>
	一 般 C	<p>一般Aの要件に加え、民法、商法、民事訴訟法、国際法、経済法、労働法、知的財産法、政治学、開発協力論、国際行政論、法理学を専攻する予定の者</p> <p>英語試験： 筆記試験は行わず、TOEFL、TOEIC、またはIELTSのスコア証明書の提出により、英語試験の成績に換算します。<u>受験者は上記のいずれかのスコア証明書を必ず提出してください。</u></p> <p>筆記試験（専門科目）： ◎次のうち1科目を受験してください。</p> <p>民法、商法、民事訴訟法、国際法、経済法、労働法、知的財産法、政治学、開発協力論、国際行政論、法理学</p>
	私 費 外 国 人 留 学 生	<p>日本国籍を有しない者であって、かつ、日本における永住資格を有しない者</p> <p>英語試験： 筆記試験は行わず、TOEFL、TOEIC、またはIELTSのスコア証明書の提出により、英語試験の成績に換算します。<u>受験者は上記のいずれかのスコア証明書を必ず提出してください。</u></p> <p>筆記試験（専門科目）： ◎次のうち1科目を受験してください。</p> <p>憲法、行政法、民法、商法、民事訴訟法、刑法、刑事訴訟法、国際法、租税法、経済法、労働法、知的財産法、政治学、開発協力論、国際行政論、法理学</p>